



収録台本

2021年12月前半号



TIME	内容
00:00 (00' 23")	オープニングタイトル
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。 田村さん、もう12月なんですよ。</p> <p>田村： 早いですね。12月か～。</p> <p>廣川： 12月はクリスマスとか年末年始用なんかにもお買い物する機会が増えると思うんですけど…。</p> <p>田村： もちろんいろいろと出費がかさみますよね。</p> <p>廣川： そんな時期に実はお得なキャンペーンがスタートするんです。こちらです。 「サンタさんもびっくり！吹田市お買い物キャンペーン」ということですが、 どんなキャンペーンかといいますと 期間中に市内の対象店舗でキャッシュレスでお買い物をすると、 支払金額の最大30%をポイント還元してくれるというものなんです。</p> <p>田村： 30%！？ でかいですね！</p> <p>廣川： 対象のキャッシュレス決済はau Pay、d払い、PayPay、楽天Payの4種類。</p> <p>田村： だいたい今やったら、どれか1個くらい使ってる人も多いと思いますけど、 まだの人はこの機会にってことですよね。</p> <p>廣川： 30%ってかなり大きいですからね。</p>

田村：

30%ってあんまり見ないですよ。

廣川：

そうなんです。20%還元っていうのは、ちらほら見ますけど吹田市ではなんと30%。例えていうとですね、1回の決済あたりの上限は2000円相当と。

田村：

上限があるんですね。なんでもかんでも30%じゃないんや。

廣川：

2000円相当が還元される。
だから、5000円を例えば楽天Payで支払った場合は、1500ポイントが還元されます。

田村：

なるほど。2000円MAXまで貰いたかったら？

廣川：

7000円をキャッシュレス決済で支払うと2000ポイント還元される。
4つそれぞれが5000円相当、これが上限になってくるので、全部使えば最大で2万円相当還元される。

田村：

え！それあり？

廣川：

すごいでしょ？

田村：

普通、それ無しちゃうん？

廣川：

ありなんですよ。

田村：

そんなんありなん！？

廣川：

だから、この機会に全部登録しようかなって思っちゃいますよね。

田村：

ええ！バリでかいやん！

廣川：

そうですね。お得でしょ。

田村：

ごっついやん。

廣川：

だって、年末年始にかけて、買うものいっぱいあるんですよ。

田村：

あるよ！そりゃサンタさん驚くよ！

廣川：

今年は忘年会とかクリスマスパーティーも、まだちょっとしづらいつてところもありますから、そうなるとお家でパーティーすることも増えますから。

田村：

そうですね。直接、使えますよね。こういう買い物でいけるんやったら。

廣川：

このキャンペーン期間は12月31日までとなっています。

田村：

どういうところで使えるんですか？

廣川：

大規模店舗は対象外になるんですけど、詳しくは吹田市のホームページを確認していただきたいなと思います。また、ポイント付与の時期とか条件というもの、キャッシュレス事業者によって異なりますので、この辺も事前に確認をお願いします。

田村：

なるほど、なるほど。じゃあ、上手く時期と場所を選んで、しっかりと賢い買い物をして、2万円お得に、お得な年末を過ごしましょう。

廣川：

お買い物するなら吹田でしてみてください。

田村：

2万はでかい。これはいかついね。

廣川：

それでは特集にいきましょうか。

今回は田村さんも大好きな「あのパン」についてです。

特集「力を合わせてみんなで作る障がい者事業所の名物パン“すいぱん”！」

ナレーション

ここは吹田市障がい者の働く場事業団の福祉団体の一つ「パン工房ことぶき」です。この「ことぶき」で、吹田市のイメージキャラクター「すいたん」を描いたパン「すいぱん」を製造しています。

こちらは、職員の小村さん。

小村さん、この「パン工房ことぶき」について教えてください。

小村さん：

「パン工房ことぶき」は、就労継続支援B型という障害福祉サービスを提供している場所にあたります。障がいを持った方が働いてその対価として工賃を得て、生活を豊かにするまた働きながら就労訓練をする場所になってます。

ナレーション

そして、「パン工房ことぶき」と「すいぱん」との関わりは？

小村さん：

働く場事業団と吹田市、千里金蘭大学の3者で吹田市のPRになるものということで、「すいぱん」という案が出ました。我々は働く場事業団の事業所ですので そこに入っている事業所2つが参加するかたちになって共に開発から携わっています。

ナレーション

それでは、「パン工房ことぶき」で、障がいや精神疾患を抱える利用者さんが「すいぱん」やお菓子を作る1日にゆる～く密着してみましよう

タイトル：力を合わせてみんなで作る 障がい者事業所の名物パン“すいぱん”！

ナレーション

午前7時。工房にまだ利用者さんはいません。この時間は利用者さんをサポートする職員さんが前日に仕込んだパンを焼き上げます。

高熱になるオーブンを扱う仕事は利用者さんには危険だからです。

「すいぱん」もこの時間に焼き上げます。

ここ！この材料に注目。この生地や餡は前日に利用者さんが計量し、包みやすくするために丸めておいたものなんです。

オーブンは使えなくても利用者さんと職員さんの連携で「すいぱん」が作られています。

焼き上がったパンに焼きごてで顔をつけて「すいぱん」の完成です。

午前9時。

パンが焼き上がった頃、ちょっと早めに出勤してきた利用者の稲田さんが、商品の値付けや袋詰めを手伝います。

午前10時、他の利用者さんたちがやってきました。

着替えを済ませ、自分たちの担当の準備をします。

「パン工房ことぶき」では、パンの他にもクッキーなどの焼き菓子も作っています。利用者さんたちは、障がいの程度や適正に合わせて作業が割り振られます。朝の主な作業は、商品の袋詰めやクッキー生地の仕込みなどです。作業速度はゆっくりですが、各自真剣に仕事をこなしていきます。

小村さん：

一人一人できるできないが皆まちまちでそれぞれ違うので、そこを把握するところから始めて、それぞれの皆さんの性格や特性に合わせて作業をしてもらっています。一般の会社でもそうですけど新入社員のことを理解した上で、いろんな配置であったり適材適所をしているののように、全く同じ形でしています。

ナレーション：

こちらでクッキー生地を作っているNさん。
彼女は生地作りの工程をマスターしていて、作業の時は工房の仲間に教えてあげています。

レシピを見ながらの確認作業も欠かしません。

小村さん：

クッキー生地だったりパウンドケーキの生地っていうのは、ほとんど一人で作っていただけます。いろんな課題があるんですけど、皆さんの様子を見ながら仲良く作業をしてもらっています。

ナレーション

午前11時。Nさん、今度は配達に同行します。
「すいぱん」を提携先のお店へ配達し、PR販売するのも利用者さんたちの大切な仕事なんです。

接客もこなします

商品が売れるとちょっと嬉しそうです
ここでちょっとブレイク！

事業所で働く利用者さんの中には、職員さんからも一目置かれる職人級のスキルを持っている人もいます。そんな職人をご紹介します。

コーナータイトル《 シール貼り職人稲田好秀！ 》

ナレーション：

稲田さんは細かい部分に気をつける性格で、シール貼りの細かいズレも許しません。何の目印もないビニール袋のほぼ同じ位置にシールを貼り付けていきます。

どうですか？この正確さ！

小村さん：

彼ができるもの、したいものに関しては、とても丁寧に、スピードはゆっくりですけどやっていただいています。

スタッフ：

作業は楽しいですか？

稲田さん：

楽しいです。

ナレーション

稲田さんの作業のおかげで「パン工房ことぶき」の商品パッケージは、いつでも美しく整っているんです。シール貼り職人、お見事でした！

さて、午後からの作業は明日のための仕込みです。ここでも作業はゆったりめですが、丁寧、確実な仕事が光ります。

午後3時、ちょっと早めですが今日の作業は終了。工房の掃除を行います最後に、出来上がったパンを食べてもらいました

Nさん：

美味しい？

小畑さん：

美味しいです。

またいつか「すいぱん」を作れるようになりたい。いろんな味を作ってみたいです。

Nさん：

私も作りたいです、「すいぱん」は。

ナレーション：

彼女たちの目標でもある「すいぱん」作り。

現在、「パン工房ことぶき」ではチョコ、チーズ、あんの定番商品から季節限定商品までおよそ30種類を製造しています。

現在「すいぱん」は市の市役所や提携先のパン店で販売していて、順調な売れ行き、評判を得ています。

しかし、「すいぱん」誕生には様々な苦労があったそうです。

コーナータイトル《 プロジェクト SUIPAN 》

ナレーション

プロジェクト S。

吹田市シティプロモーション推進室発案プロジェクト「enZINE」。

ここで発案された吹田市のイメージキャラクター「すいたん」の形のパン。

市の新しい名物となる大切なプロジェクトだった。

その大役を任されたのが、栄養学を専門とする千里金蘭大学。

そして作り手の一つとして「パン工房ことぶき」の名前が上がった。

「事業所のPRになるチャンスなのでは！？」、職員は思った。

しかし、それと同時に不安も襲った。

「果たして我々にできるのであろうか？」

アイデアを練って商品が完成するまでには、様々なハードルがあった。

小村さん：

開発段階で米粉100%グルテンフリーで作るという話だったんですけど、米粉での製造、商品としての出来上がりが難しい部分と、利用者さんが取り扱うのに生地が柔らかくなりますので取り扱いが難しいというのが実際にある。

また顔を作る際に焼きごてを使うんですけど、火傷の恐れがあるので、現状の焼きごてでは利用者さんには取り扱いが難しいというところがあります。

ナレーション：

材料を見直し作業を分業するなどして 完成した「すいぱん」。

販売も順調に進み、パン工房ことぶきのPRにも役立っていました。

しかし、昨年から拡大した新型コロナウイルスの影響で、「すいぱん」のPRはままならず、さらに、「パン工房ことぶき」も大きな打撃を受けました

小村さん：

コロナ禍というかコロナが何かわからない状態になってしまって、お客さんもわからない、作る側もわからない、支援する側もわからない、本当にわからないところから始まりました。来店するお客さんもほとんどいませんでしたし、また利用者さんも怖さが全面にあるので、不安定になったりぶれたり、行きたくない、行けない、そういう状況にぶち当たって、どうして行こうかと職員と意見を出し合いましたそうですね。

ナレーション

さらに、利用者さん新型コロナのことを理解してもらうのも大変だったそうです。

小村さん：

普段マスクをしてない人が多いので、口周りが痒くなるとかとか、10～15分マスクをしてもすぐに外してしまうとか、それはうちの利用者さんでも、よく見られました

ナレーション：

コロナ禍という非常時に普段と違うことをすることが利用者さんのストレスとなりました。しかし、今ではしっかりと感染予防をして以前と同じように仕事ができるようになりました。

最後に、改めて障がいを持つ方との向き合い方についてお聞きしました。

小村さん：

障がい者というイメージで人を見てしまうと、意思の疎通であったり理解がお互いできないと思います。一人一人できることできないこと、やりたいことやりたくないことあると思いますので、できないことをできるようにお手伝い、やりたいことをやれるようにお手伝い、それをお互いしていだけで障がいというのは社会が作っているものなので、壁をできるだけなくすお手伝いができたらいいかなと思っています。

ナレーション

パン工房ことぶきで作った「すいぱん」は、市役所や各提携のパン店、千里金蘭大学などで販売しています。みなさんも是非一度、食べてみてくださいね。

TIME	内容
	<p>田村： すごいじゃないですか。</p> <p>廣川： 私たちも「すいぱん」大好きですけど、こんなふうになられてたんですね。</p> <p>田村： あんな開発秘話も知らなかったしね。すごい皆さんの努力も。それぞれが自分の出来ることを、役割分担をしっかりと見つけて、適材適所というのは、本当にすべての人にすごく有効な話ですから、あそこから学ぶこともたくさんあるなと思いながら見てましたけど。いろんなことを乗り越えてやられているというのも素晴らしいですし、気軽に話しかけていいのかな？と思ってしまったりというのは知らないと思いますけど、少しでもああいうのをさせていただいて、接点ができるとこちらからも話しかけるチャンスも出来てきますし、コミュニケーション取ってお互い理解していけるってきっかけになりますからどんどん広まると良いですよ。</p> <p>廣川： Nさんの接客姿も素敵でしたね。</p> <p>田村： 「美味しいですよ」って。可愛かった。</p> <p>廣川： お客さんも「すいぱん」もちろんご存じですし、何の餡が入ってるか気になるっていうのも伝わってきましたけど。そして、コロナ禍で障がい者就労支援事業所というところは、国民健康保険団体連合会から利用者の通所日数に応じて利用料というのが支払われているんですよ。ですから、緊急事態宣言中は利用者が大事を取って通所をお休みする方が多かったそうなんです。通ってきてくれないと利用料が入らないため、障がい者就労支援事業所もコロナ禍で収入が大幅に減ってしまったということがあったそうなんです。そういう意味でも、すごく大変だったみたいですね。</p> <p>田村： そうですか。そういう制度もこのコロナ禍の中で見直すべきものなのかもしれませんがね。</p>

廣川：

この「すいパン」ですが、「パン工房ことぶき」のほか、
ご覧の店舗で販売しています。
また、千里金蘭大学と市役所でも出張販売も行っていますので。
ぜひチェックしてみてください。価格は1個180円となっています。
季節限定の味もありますので、是非お買い求めください。

田村：

グーチョコパン屋さん、名前かわいいね。

廣川：

以上、特集でした。

ワンポイント手話 1 '00

田村裕のすい散歩 3 '30

田村：

どうも～。吹田駅にやってきました。「すい散歩」のお時間です。
なんと1年8ヶ月ぶりということで、かなり久々の「すい散歩」ですが、
ワクワクしますし、コロナで出来なかった分、吹田市の方と触れ合える
というのは非常に嬉しいんですが、ロケ日和すぎて暑い！
樽井さん、汗だくということで、よろしくお願ひします。
さあ、今日は何をしますか？

スタッフ：

こちらでございます。

田村：

何でしょう、これは。

スタッフ：

見ていただいたら分かるように「キッチンカー」。

田村：

毎週木、土曜日はキッチンカーの日。営業中。今日、木曜日やん。

スタッフ：

そうです。
今、キッチンカー事業といって吹田市でやってる事業があるんですけど、
これを実際、田村さんに体験していただくということで。

田村：

言ってきましたね、そういえばね。

こんにちはー。

女性1・2：

こんにちは。

田村：

今、買われたんですか？

女性1・2

はい。

田村：

お二人はキッチンカーがあるの分かってて来たんですか？

女性1：

いえ、たまたまです。

女性2：

見つけたら、とりあえず「何かな？」みたいな感じで見ちゃう。
最近、いろんなところで見かけるじゃないですか。

田村：

なるほど。すごい！吹田市の情報をキャッチしてくれてる。

女性2：

たまたまばかりなんですよ。こないだ唐揚げ買いました。

田村：

それ、場所は何処ですか？

女性2：

健都で。

田村：

健都、あの公園ね。分かる分かる。

女性2：

そこに出てて、ちょうど自転車で通ったときに「やってる～！」ってなって。
それで、唐揚げを増し増しにしてもらいました。

田村：

めちゃくちゃ腹減ってたんや。

女性2：

おまけしてくれたんですよ。

田村：

へえ～。そういうのもいいですね。

女性2：

そうですね。

田村：

こんにちは。どうもどうも。よろしくお願ひします。
ちなみに、「バインミー」というのは、なぜ選ばれてるんですか？

米田さん：

最初、ピザ屋さんをやろうと思ってイタリアに行ったんですよ。

田村：

すぐ海外行くやん！

米田さん：

海外大好きなんです。京都でやろうとしてたんですけど、
ちょっといろいろお金もかかるし、包丁も持ったこともなかったんで。
その後ちょっとしたきっかけでベトナムへ行って、
それでこのバインミーに出会ったのがきっかけで。
ピザの生地も、このパンも基本は一緒なんで、そこから向こうの師匠に…

田村：

挟むか乗せるかみたいなところですよ、要は。

米田さん：

そうですね。それで作り直したのがきっかけで。
最初に100万以上するオープン買ったんですよ。
だから辞めるに辞められへんようになって。
もう行くところまで行かなあかんと思って。

田村：

そうですね。「日本でバインミーが流行ってるからやろうか」じゃなくて。

米田さん：

僕も知らなかったんですよ。関西ではウチが初めてやと。
もう1年くらい経つので。

田村：

是非とも（オープン代を）回収するためにも、吹田市のいろんなところを
巡らなきゃだめですね。

米田さん：

よろしくお願ひします、吹田市の皆さん。

田村：

じゃあ、何か買いたいの、お薦めのやつを貰っていいですか？

米田さん：

パクチー好きだと聞きましたので、
バインミーのチャーシューでよろしいですかね？

田村：

パクチー好きにはたまらない。

田村：

じゃあ、さっそくバインミーをいただきたいと思います。
う〜ん、めちゃくちゃ旨い！これはやっぱりキッチンカーだから
すぐ食べれる良さと、中で調理してて焼き立てやから。
焼き立てのパン最高ですね。
お肉が油乗ってて、すごいジューシーなんですよ、チャーシューが。
すごいジューシーなんですけど、酸味のある調味料を使ってるのかな？
すごい爽やかで、しかもパクチーが入ってるので、それがスッと鼻に抜けて
すごく爽やかです。チャーシューの油がフランスパンの柔らかいところに
染み込んで、めちゃくちゃ旨い。これ、最高。これは至極のパンやね。

田村：

これ安心ですよ、ちゃんと書いてくれてますから。
食べてるだけで健康になった気になるしね。
めちゃくちゃ旨い、これは。流行ると思う、すごい。

TIME	映像	内容
22:00 (02'00")	<p data-bbox="272 349 424 387">トリキリ①</p> <p data-bbox="272 781 424 819">トリキリ②</p> <p data-bbox="272 1355 424 1393">トリキリ③</p>	<p data-bbox="470 210 1015 241">吹田市からのお知らせ（コロナ関連情報）</p> <p data-bbox="470 255 978 288"><u>＜廣川 ナレーション＞ ※事前収録</u></p> <p data-bbox="470 351 1382 674">引き続き感染防止対策をお願いします。 ワクチン接種の有無に関わらず、3密を避ける、マスクの着用、こまめな手洗いなど、基本的な感染対策をお願いします。 寒い時期になりましたが、十分な換気を行ってください。 日ごろからご自身の健康状態を適切に把握し、発熱や風邪症状、倦怠感など、少しでも体調がすぐれないと感じたら、出勤や通学など外出を控えてください。</p> <p data-bbox="470 784 1481 1296">「ワクチンの追加接種（3回目接種）について」 国は新型コロナウイルスワクチンの3回目接種の開始時期について、医療従事者等を対象に、12月から開始するとの方針を示しています。 なお、本市では、接種券について、国が示すスケジュールをふまえながら、2回目接種から概ね8カ月以上経過した人を対象に、12月以降に順次接種券を発送していきます。 3回目の接種については、予約方法など詳しい内容が決まりましたら、市のホームページやSNS等でお知らせします。 なお、国の方針などにより、追加接種の内容について、変更となる場合があります</p> <p data-bbox="470 1357 1190 1583">市コールセンターでは、ワクチン接種に関するご相談も受け付けています。 電話番号は、フリーダイヤル 0120-210-750 受付時間は午前9時～午後8時まで、土曜・日曜・祝日も対応しています。</p>

TIME	内容
	<p>田村： 続いては市内で行われた出来事などをご紹介します「吹田のトピックス」です。</p> <p>廣川： 今回は心温まる話題です。</p>
	<p>ナレーション・(廣川)</p> <p>11月10日、市役所で大幸薬品株式会社への感謝状贈呈式が行われました。</p> <p>吹田市では、新型コロナウイルス感染症の感染急拡大に伴う保健所業務のひっ迫に備え、市内に工場などがある大幸薬品株式会社と塩野義製薬株式会社の2社との間で、5月に職員の応援派遣に関する協定を締結しました。</p> <p>そして、今回、7月21日から9月10日までの期間に延べ93人の社員を派遣した大幸薬品株式会社に対し、吹田市から感謝状が贈呈されました。</p> <p>(吹田市健康医療部総括参事 笹川健二)</p> <p>他市の保健所等に調査依頼をするということをやっておりますので、そういった業務、そのほか感染者に対しまして、就業制限通知であるとか入院勧告書等発送いたしますので、その発送に関わる業務をお願いしておりました。情報のパソコン入力とか通知書の封入作業とか、どうしても人手がいりますので、そういった面で大変助かったと思っております。</p> <p>(大幸薬品株式会社 代表取締役社長 柴田高さん)</p> <p>コロナ禍においては、保健所が大変な忙しさに寝ずに頑張られているというのを放映を見てますと、やはり居ても立ってもおれない。まあ、そういう思いから賛同いただける社員がいますかということ声を掛けると、たくさん手が上がって、今回派遣することができて、当事者も非常に喜んでいただいているというふうに思っています。そういう意味で、やはり次の6波に向けて、地域の防御力を高める一員の会社として、貢献できればというふうに思ってます。</p>

TIME	内容
	<p>田村： ほお～、素晴らしい。 すごいですね。 しかも多少薬の知識も知ってるでしょうし、心強かったでしょね。 そういう想いを持って、ちゃんと行動に移して 支え合ってるというのが素晴らしいし そういうことをしてくれる会社なんやと思うと、こっちも今後も なにか協力できることあったらと思いますし、素晴らしいですね。</p> <p>廣川： 会社の垣根を超えて、困っている人が居たら支え合えるというな いいですよ。</p> <p>田村： そんなたくさんの手が上がったっていうのも良いですね。 本当に心温まる、まさにだなという感じですね。</p> <p>廣川： インタビューにもありましたように第6波が起きないように、 今一度感染予防対策をお願いします。以上「吹田のトピックス」でした。</p> <p>田村： ということで、エンディングでございます。ありがとうございました。 本当にね落ち着いてはいるけども、油断せずに第6波は起こさないという 意識を持って頑張りましょう。</p> <p>それでは、また次回お会いしましょう。さようなら～！</p>